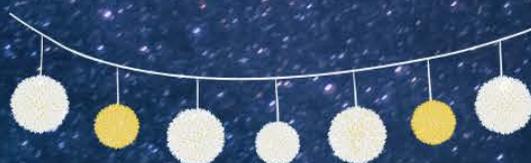


とよね村の

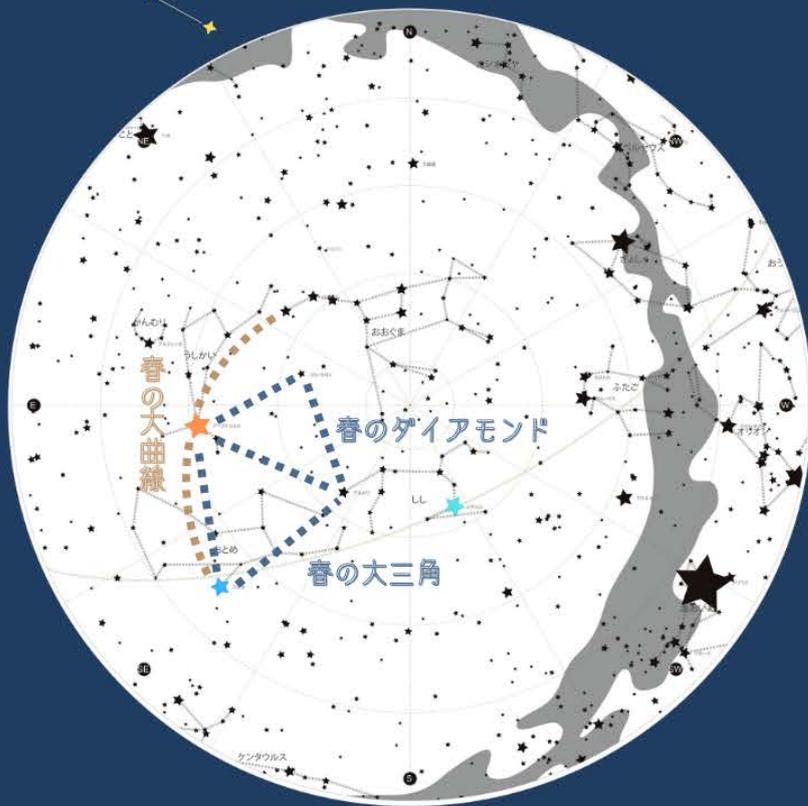
星空ガイド





【主な星座】

おおぐま座、うしかい座
おとめ座、しし座



【見どころ】

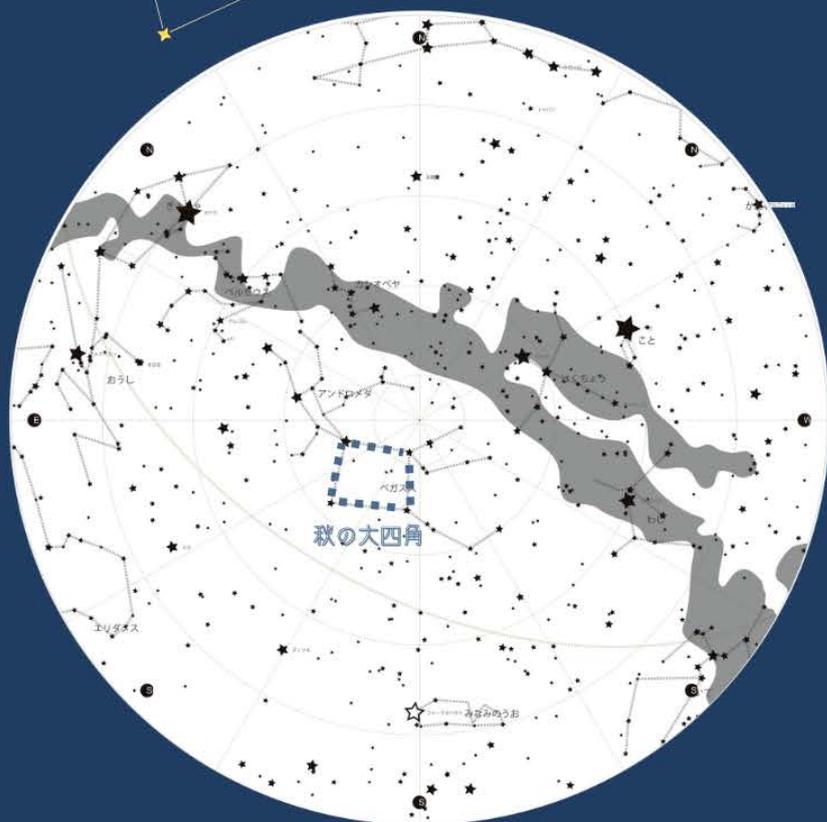
北の空高くに、ひしゃくの形の北斗七星が見つかります。北斗七星は、星座の名前ではなく、おおぐま座の尻尾の部分。北斗七星の持ち手の部分を伸ばしていくと、うしかい座の一等星アークトゥルスが見つかります。さらにその先におとめ座の一等星スピカも輝いています。アークトゥルスとスピカ、しし座の二等星デネボラを結んでできる三角形が「春の大三角」。それに加えて、りょうけん座のコル・カロリでできるひし形が「春のダイヤモンド」です。この領域は、星の数が少なく寂しい気もしますが、実は私たちの銀河系の外側にある系外銀河や球状星団がたくさん見られるところでもあります。

それらは、望遠鏡を使ってやっとみられるというものですが、何万年・・・何千万年と旅してきた光が、今地球にいる私たちの目に到着しているという、宇宙の広大さを感じる貴重な体験でもあります。



【主な星座】

ペガサス座、アンドロメダ座、カシオペヤ座、
ペルセウス座、みなみのうお座



【見どころ】

秋が深まる頃、頭上を見上げると大きな四角形を形作る星の並びが見つかります。ペガサス座の胴体部分、別名「秋の大四角」です。そこから北東方向に連なるのが、アンドロメダ座、その近くにはカシオペヤ座とペルセウス座が見つかります。実は、カシオペヤ座とペルセウス座は、天の川の中にあります。双眼鏡で覗いて見ると、たくさんの星が輝いている様子が見られます。

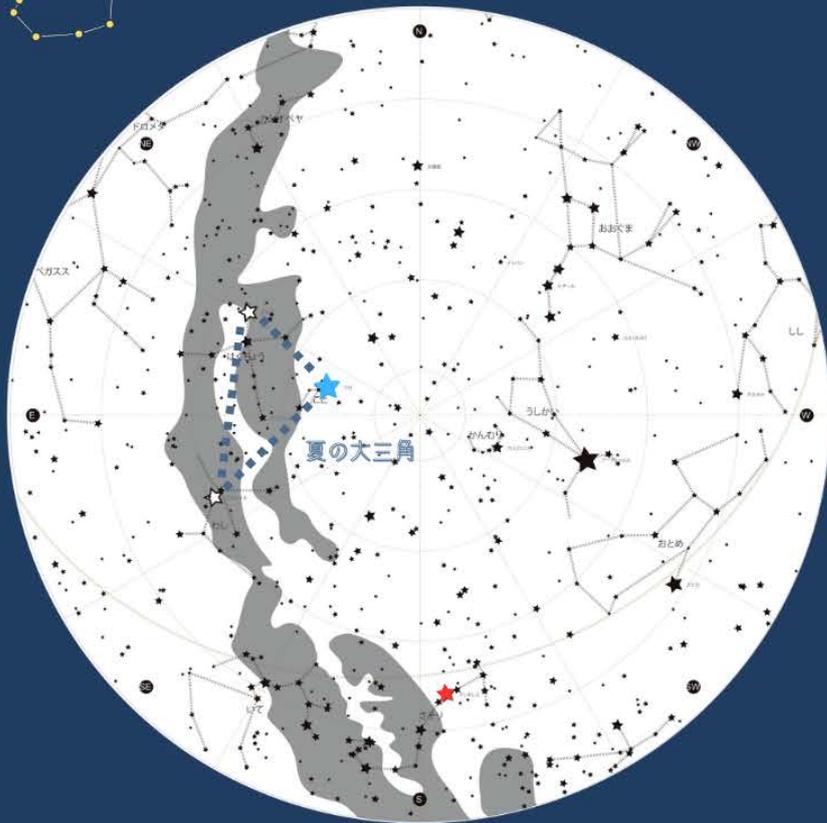
秋の南の空を見ると、秋の唯一の一等星みなみのうお座のフォーマルハウトが輝いています。

そして、アンドロメダ座には私たちの隣の銀河であるアンドロメダ銀河があります。北半球では唯一肉眼で見ることが出来る銀河です。夜空の暗い山間地で肉眼でその存在を確認しつつ、望遠鏡でその大きさを感じるのも良い経験です。



【主な星座】

はくちょう座、こそ座、わし座、いて座、さそり座



【見どころ】

夏の夜空を見上げると、3つの一等星が目立って見えます。はくちょう座のデネブ、こそ座のベガ、わし座のアルタイルで「夏の大三角」です。夜空の暗いところで見ると、その三角形の真ん中にぼんやりと天の川が見つけられます。夏の大三角形のとがった方向にに向けて視線を移していくと、さそり座のアンタレスが赤く輝いています。

一年のうちで一番濃く見えるのが夏の天の川。山間地の本当に夜空が暗いところでは、その天の川に濃淡があることがわかります。はくちょう座やいて座付近には、暗黒帯と呼ばれる暗い部分や散光星雲や散開星団と呼ばれる明るく見える部分が見つけられます。望遠鏡で見ると、多くの星が集まっている様子が見られたり、雲のように見えるガスがぼんやりと光っている様子が見られたりします。

8月13日前後には、三大流星群の一つ、ペルセウス座流星群が出現します。条件が良ければ1時間あたり50~60個も見られることもあります。



【主な星座】

オリオン座、おおいぬ座、こいぬ座、ふたご座、ぎょしゃ座、おうし座



【見どころ】

冬の星空には、一等星が7つも大集合。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンの3つの一等星を結んでできるのが「冬の大三角」。それに加えて、ふたご座のポルクス、ぎょしゃ座のカペラ、牡牛座のアルデバランとオリオン座のリゲルを結んでできる大きな六角形が「冬のダイヤモンド」。夜空が暗い場所では、その真ん中に淡い天の川が通っていることがわかります。

冬の夜空には、望遠鏡や双眼鏡で観察すると楽しい天体もたくさんあります。数十から数百の星の集まりの散開星団のひとつプレアデス星団。オリオン座にある星の生まれているガスの集まりオリオン大星雲も有名です。そのほかにも、M35やM36と呼ばれるような、番号のついた星団・星雲が数多く見られるのも冬の星空の楽しみです。

12月14日前後には、ふたご座流星群が見られます。三大流星群の一つで、1時間あたり50個以上の流星が流れると言われています。

★村内の星空観察イベント★



休暇村 茶臼山高原 星空観察プログラム

愛知県最高峰の宿『休暇村 茶臼山高原』では月に一度、星空案内人のガイド講師をお招きして星空観察会を開催しています。
雨や曇りの日はプロジェクターを使って解説を楽しめますので、天候に関係なく星空を楽しむことができます。
※参加費無料・予約不要



←休暇村公式HPはコチラ



星空 観察 てんくう

茶臼山高原駐車場で月に一度開催される星空観察会。参加費無料、予約不要。
星空案内人の解説を聞いたり、山肌に寝そべってゆっくり過ごしたり…自分のペースで星を楽しむことができます。
9・10・11月は有料の特別ガイドも開催。



←日程や詳細はコチラ

～星空観察時の心得～

- △観察地の近くにも、生活をしている人がいます。大きな声は出さず、穏やかな心で星を楽しみましょう。
 - △交通安全には特に注意。車道で寝ころんでみたり、ふらふら歩くことは避けましょう。
 - △標高が高い地域となります。寒い時期の星空観察には、防寒対策を充分行って臨みましょう。
 - △ルールを守り、立入禁止区域には絶対に入らないで下さい。
 - △ゴミは必ず持ち帰りましょう。
 - △明るすぎない懐中電灯で足もとの安全確保をしましょう。明るすぎると星空が見えづらくなるので注意を。
- ★最初は、何も道具はいりません。肉眼で見える星空を楽しむことから始めましょう。



発行：豊根村観光協会
協力：奥三河★星空の魅力を伝える会・茶臼山高原協会
休暇村 茶臼山高原
文責：奥三河★星空の魅力を伝える会
星空案内人 萩野裕司